

# 令和元年度福岡県立学校「新たな学びプロジェクト」 福岡県立八女農業高等学校

## 本校のグランドデザイン

### 本校を卒業するまでに身に付けさせる力

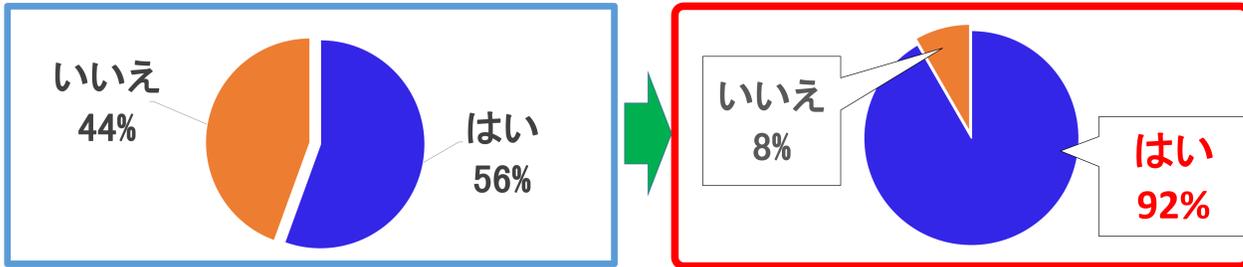
- 人・自然・食を愛し、志を持って世界や地域に貢献できる力
- 地域産業の発展に貢献することに情熱を注げる力
- 命を大切にし、人々に真摯に対応できる社会的能力

### 本校の「主体的・対話的で深い学び」の実践

- ①「年間学習指導計画」にて、担当科目の指導計画を立案
- ②「研究授業週間」の設定及び「授業アンケート」の実施
- ③実施状況等に関する職員アンケートの実施

職員アンケートから

問:「主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業を実施していますか  
平成30年度 令和元年度



### 生徒の変化

- ・「主体的・対話的で深い学び」への対応が進んでいる。
- ・生徒の変化として、「他の生徒からの刺激を受けている／受け身の姿勢が少なくなってきた／コミュニケーション能力の向上」などが挙げられる。
- ・課題としては、「毎回できない／指導困難な生徒がいる場合の効果／グループ内で受動的になってしまう生徒への対応／時間がかかる／授業規律／消極的な生徒」などが挙げられてきた。

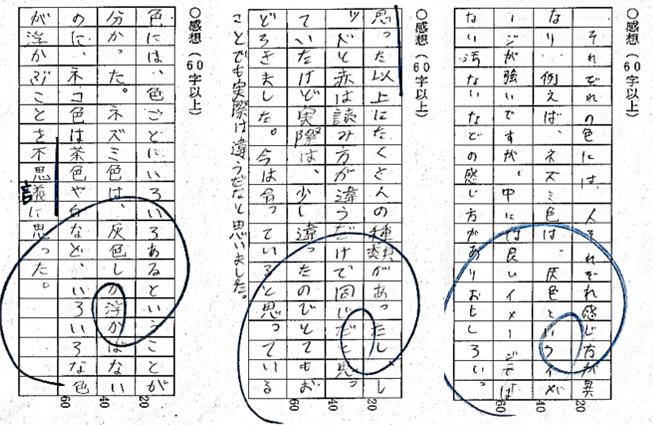
### ④国語科の主な取組・・・見方・考え方を広げるために、導入発問の工夫

1年国語総合において、教材導入時に、「教材と関係する、明確な答えが出ない発問」を出題。周囲と話し合い、答えを出させる。最初に「模範解答は言わない」と宣言する。

具体例) 1年国語総合・東京書籍『新編国語総合』評論1「豊かに生きる」『無彩色の色』の導入  
発問①ネズミ色はどんな色? ②ネコ色はどんな色? ③ネズミ色にどんなイメージを持つか?

生徒の感想)

- ・それぞれの色には、人それぞれ感じ方が異なる。
- ・合っていると思っていることでも実際は違うんだと思った。
- ・ネズミ色は灰色なのに、ネコ色は色々な色が浮かんで不思議。
- ・色にはいろいろあるのが分かった。・本には知らない名前色がたくさん載っていた。
- ・友達と自由に話せたのが楽しかった。・全部の授業を図書室でもらいたい。



### ⑤農業科の主な取組

「基礎的知識・技術」+「協働」+「プロジェクト学習(課題解決学習)」の実践

システム園芸科草花専攻の場合

フラワーアレンジメント ハーバリウム 販売  
販売 流通 栽培 管理 播種  
2・3年 学科・専攻で深く学ぶ  
草花、野菜、環境、バイオテック

### 確かな学力

3年: 応用PJ(個人)

2年: 応用PJ(班)

1年: 基礎PJ(個・班)

ALの視点で改善  
プロジェクト学習  
学習評価

何が出来る どう使うか

外部評価 自己評価 相互評価

毎回の課題を明確化し課題解決を思考させる  
記録簿のルーブリック評価設定 例:「思考・判断・表現」

	A	B	C
授業について、よく思考したり、判断したりしたことをわかりやすく表現している。		授業について、思考したり、判断したりしたことを表現している。	授業について、思考したり、判断したりしたことを表現しているが、不十分である。

記録簿「感想及び反省」の記入指導、「自己評価」欄の記入記入は「①本時の成果、②反省、③次回の抱負」の3つの視点

1年ルーブリック評価

A	47%	53%
B	45%	39%
C	8%	8%

2年ルーブリック評価

A	62%	77%
B	67%	15%
C	23%	8%

### 成果

- ・学習内容をフィードバックさせ、見方・考え方を広げたり、深めたりできている。
- ・2年生では、記録の視点が身に付いてきている。学習内容の共有や、発言の根拠にできている。

### 今後の課題

- ・学習のねらいとプロセスを十分に考えさせる時間が必要である。
- ・他者評価として、外部評価(専門家等)を適宜取り入れていく。